

Comb & Razor Test 記録補助

課題別の回数と条件を記録 / 公式用紙・標準化された日本版ではありません

各課題の左・右・判別困難の回数を残し、課題別の偏りを計算してから2課題の平均を求めます。左右は本人基準。
採用する実施資料を併用してください。

氏名・ID：_____ 日時：_____ 評価者：_____

01 実施条件

使用手／姿勢／道具・習慣／髪型・皮膚／鏡の有無／痛み・運動・感覚・理解

02 30秒ごとの記録

課題	左 L	右 R	判別困難 A	総数 N
くし	____ 回	____ 回	____ 回	____ 回
ひげ剃り・化粧（実施した方に丸）	____ 回	____ 回	____ 回	____ 回

$N=L+R+A$ / 課題別の $B=(L-R) \div N$

くし B：_____ ひげ剃り／化粧 B：_____

2課題平均 B = (くし B + 顔面課題 B) $\div$ 2 =

参照基準：平均 $B < -0.11$ で左半側身体無視を示す判定（太田，2025）。
 $N=0$ は算出不能。一方が未実施・算出不能なら2課題平均は出さない。
2課題の回数を先に合算しない。丸める前の値で比較する。

03 点数以外の観察

開始側／反対側への移行／反復・停止／判別に迷った動作／実施困難の理由

04 生活場面と、支援を加えた後の変化

整容・更衣などの事実／声かけ・環境調整の内容／次回確認すること

Comb & Razor Test 記録補助

読み方と計算例 / 以下は説明用の架空例です

01 符号を確認する

本紙の式：左-右	意味
Bが負	右への動作が多い。左側の行為の減少を検討する。
Bが正	左への動作が多い。背景と採用基準を確認する。
B=0	左右同数。総数と判別困難の回数も必ず見る。

02 計算例

課題	L / R / A	計算
くし	4 / 14 / 2	$(4-14) \div 20 = -0.50$
化粧	6 / 10 / 4	$(6-10) \div 20 = -0.20$

平均B = $(-0.50 + -0.20) \div 2 = -0.35$

-0.11未満。ただし左右差だけで原因を決めず、身体・理解・実施条件と照合します。

03 誤りやすいところ

- ・旧式の「左の割合 < 0.35」と、本紙の改訂式を混ぜない。
- ・「右-左」の式や百分率では符号・桁が変わる。式ごと確認する。
- ・L0・R0・A20ならB=0だが、左右へ十分に動作したとはいえない。
- ・片方だけの値を2課題平均として記載しない。
- ・鏡、声かけ、誘導、道具変更を加えた条件は補助なしの結果と分ける。
- ・頭部・顔面の成績だけで、更衣や全身の身体無視を否定しない。

04 参照資料と本紙の位置づけ

McIntosh RD, et al. Cortex. 2000;36:289-292.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/10815712/>

太田久晶. 半側空間無視のみかた. 神経心理学. 2025;41:80-87.

<https://doi.org/10.20584/neuropsychology.17248>

本紙は公開文献を参照した独自の記録補助です。公式原票の複製ではなく、標準化された日本版や独自に検証した尺度でもありません。開発者・原著者の監修や承認を意味しません。実施条件・採点方法を確認し、他の検査と生活観察を組み合わせで解釈してください。